

こ ん な と き

あなたなら どう寄り添いますか

～気持ちに寄り添う子育て支援～

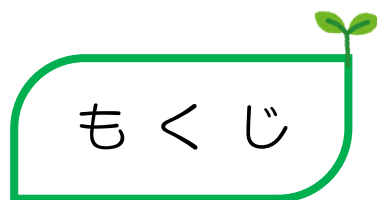
- ★ 感じる心を持つミニエピソード集
- ★ 親の気持ちを考えるためのワーク集



子育て支援研究プロジェクト

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

第4期研究プロジェクト



	ページ
まえがき .....	1
感じる心を持つミニエピソード集 .....	3
話し合いについて～ミニエピソード編～ .....	4
ミニエピソード	
例題 私の前では泣くんです .....	6
検討例 .....	8
◆ 日常の保育で	
① 排泄できたんです！ .....	10
② わざとじゃなくてもうちの子が謝らなくてはダメなんですか？ .....	12
③ もう、どうしていいかわからないんです・・・ .....	14
◆ 子育て支援事業で	
④ こんな感じなんです .....	16
⑤ あ！それだ そうだ・・・先生だから言うけど .....	18
◆ 母親の立場で	
⑥ 嫌いになりそうや .....	22
◆ 虐待	
⑦ もういややねん！ .....	24
検討メモ（グループ討議記入用紙） .....	26
親の気持ちを考えるためのワーク集 .....	29
話し合いについて～ワーク編～ .....	30
ワーク	
例題 子どものすることに細かに口を出し、厳しく叱責することが多い。 .....	32
検討例 .....	34
㊸ 迎えに来たが、子どもは園庭で遊んで・・・ .....	36
㊹ 保護者は綺麗な身なりをしているが、表情はしんどそう。 .....	38
㊺ 年長児である我が子を赤ちゃんのように抱っこする。 .....	40
㊻ 子どものお迎えが閉園ぎりぎりになることが多く、遅れることもある。 .....	42
㊼ 子どもが、園であった友だちとのトラブルを話すと・・・ .....	44
㊽ 保護者の中では地味でおとなしく見える。 .....	46
㊾ 大型遊具で遊んでいる我が子がしていることにハラハラし・・・ .....	48
㊿ 子どもに対する悩みや困りを、友だちや先生など他人のせいにする。 .....	50
㊿ 子どもが可愛いとは思っているが、だからと言って・・・ .....	52



# まえがき

## 研究プロジェクトとは

こどもみらい館では、これまで子育て支援に関する研究プロジェクトを、平成16年度から進めてきました。第3期研究プロジェクトの報告会では、子育て支援は、保育者が専門家として保護者に対し知識や情報を提供するだけでなく、保護者の思いを保育者が心から受け止め寄り添うこと、そして、保護者の悩みに対して共に試行錯誤しながら歩もうとすることの中にこそ、その本質があるとの考えにたどり着きました。第4期は、これらの考えを、より多くの保育者に届けられるよう発信していくことを目的としてスタートしました。

## 第4期子育て支援研究プロジェクト

研究プロジェクトでの討議を通して、保護者の思いに心を寄せるためには、保護者の気持ちや思いを保育者が分かってもらうこと、そして、自分ならどうかと相手の立場にたって考えることが大切だと気付きました。保育者は、様々な可能性を想像する「心の引き出し」を広げ、保護者に対して懐深い見方ができるようになることで、保護者の個々の気持ちに寄り添えるのです。

この懐深い見方ができるようになるために、今回エピソード集やワーク集を作成しました。これを題材に多くの保育者が集まって意見交換することで、他者の意見を聞き、思っても見なかった視点を知ることができます。寄り添いの幅を広げるために、是非、活用していただければと思います。

---

※ 市内には、就学前施設だけでなく、児童館やつどいの広場など様々な場所で子育て支援が行われています。共に親子の気持ちに寄り添う子育て支援を実施する施設として、この冊子で保育者と表現している部分は支援者と読み替えていただけたらと思います。





## 感じる心を持つとうミニエピソード集

### ねらい

プロジェクトのメンバーが集まる毎月の定例研究会では、子育て支援に関するエピソード検討会を繰り返し行ってきました。厚みのあるエピソード記述から学ぶことはたくさんありましたが、このミニエピソード集は、それらを簡素化し、短時間で検討会を実施できるように作成しています。

皆さんは、担任している子どもの保護者や、自園に来園される様々な親子を目の前にして、その瞬間、どんな言葉をかけていますか。保育者とその親子についてどう感じ、どう捉えるかには、実は様々な幅があり得ます。是非、何人かで集まってこのミニエピソードを題材に検討会をしてください。他の保育者の考えを聞くと「そうだったのか」と自分が知らなかったことや「そういうふうにも考えられるのか」と思いもしなかった視点に気付くことができます。検討会に正解はありません。他者の意見をたくさん聞いて、子育て支援や自分の保育を振り返り、保育者としての親子の気持ちを捉える幅を広げてください。

ここに挙げた事例は保護者対応のマニュアルではありません。検討会を通して、一人ひとり異なる保護者のそれぞれの気持ちを大切に思い、寄り添おうとする姿勢が醸成されていけばと願って作成しました。この取組から、子育て支援において、より多くの保育者にこうした姿勢が広がり、親子の気持ちに寄り添うことが当たり前になっていくことを心から願っています。



## ➤ 方法

- 所要時間 30分～45分程度  
(人数に合わせて話し合う時間を調整)
- 形式 グループ討議
- 形態 3人から5人程度のグループ

## ➤ 実施時の約束

- 他者の意見を聞いて学びましょう。  
違いに気付くことや自分を振り返ることが、子育て支援や保育のヒントになります。
- お互いの意見を尊重しましょう。  
どの人の意見も公平に扱われ、保育の経験年数などでその重みは変わりません。
- この話し合いには正解はありません。  
「間違い」もありませんので、臆することなく、感じたことを出し合いましょう。
- 参加者みんなで意見交換できるようにしましょう。  
全員が発言できるように意識し、一人の人が喋り過ぎないようにしましょう。

## ➤ 流れ

時間	手順
始める前に	エピソードを選ぶ グループに分かれる 司会と書記を決める
15分～20分 (グループ人数によって時間調整)	エピソード[A]を配布する ■ 読み合わせ ■ 意見交換
15分～20分 (グループ人数によって時間調整)	エピソード[B]を配布する ■ 読み合わせ ■ 意見交換
	⑤については[C]も同様の手順で行う
5分	気付きの報告をする ■ グループ発表

➤ 検討メモの使い方(グループ討議記入用紙は P26~P27)

感じる心を持つ  
ミニエピソード  
検討メモ

始める前に皆さんで確認しましょう!

- 他者の意見を聞いて学びましょう。  
違いに気付くことや自分を振り返ることが、子育て実践や保育のヒントになります。
- お互いの意見を尊重しましょう。  
どの人の意見も公平に扱われ、保育の経験年数などでその重みは変わりません。
- この話し合いには正解はありません。  
「間違いない」もありませんので、懸念することなく感じたことを出し合ひましょう。
- 参加者みんなで意見交換できるようにしましょう。  
全員が発言できるように意識し、一人の人が喋り過ぎないようにしましょう。

実施日時 月 日 ( ) エピソード

参加者名(司会者 司書記)	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

**A**

- ① 参加の方の名前を記入しましょう。
- ② 司会と書記には印をつけましょう。
- ③ **A**のエピソードのみを配布しましょう。
- ④ グループでエピソード**A**について話し合ひましょう。

**ポイント**

話し合いは決して正解を導くものではなく、参加者全員で「ああかな」「こうかな」と想像力をふくらませながら、保護者の気持ちに思いをめぐらせます。様々な可能性を皆さんで出し合ひましょう。

**B**

気付き

話し合ったことがら気付いたことを集め話し合ひ、まとめて記入してください。

- ⑤ **B**のエピソードを配布しましょう。
- ⑥ **A**と同様に、グループでエピソード**B**について話し合ひましょう。
- ⑦ 複数のグループがある場合は、他のグループの発表を聞き、気付きにつなげましょう。



次のページに例題を示します。  
まずはこの例題を題材として、試しに上の①~⑦の手順をやってみてください。

# A

## 例題 私の前では泣くんです

### 背景 1

今年から入園したAちゃん（3歳児）は父・母・兄との4人家族。もともと園で行っている子育て支援事業に来ていたため、園の環境には慣れている。また、すでに兄が入園しているため母子共に友達も複数いる。私自身（クラス担任はしていないフリーの立場）は、兄の送迎などで来園したときに母親と話をしたことがあり、顔なじみではあったが、必要なことを話す程度だった。母は、真面目で、何事もそつなくできる人であるが、緊張感があり、自分のことはあまり話さない印象であった。

入園後、Aちゃんは、緊張感はあるものの毎日機嫌よく通っていた。しかし、5月下旬頃から登園時に母親から離れにくくなり、泣くことが増えた。6月初め、Aちゃんは病気欠席が続いた後から、毎日、母親がAちゃんに泣き止むよう言い含める様子が続いた。Aちゃんはしくしく泣きながら担任に抱きとめられて母親と別れていた。

### エピソード 1

6月のある日の登園時のこと。Aちゃんはいつも以上に大きな声で泣いていた。母親は保育室のそばでAちゃんに話しかけている。あまり人気のない場所で母親は周囲に背を向けながらAちゃんに泣き止むように話しているようだった。人を寄せ付けない雰囲気を感じ、声はかけなかった。私が保育室に入ると、母親は結構大きな声で「いい加減にしなさい!」と、Aちゃんを叱った。きっと母親は我が子が泣いていることをよしとはせず、説得しているところを私に見られたくはなかったのだろうと思った。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 泣いているAちゃんはどんな気持ちだったのでしょうか。
- Aちゃんと母親はどのような関係だったのでしょうか。
- 母親への対応は様々あると思います。あなたならこのようなとき、どうしますか。



# B

## 例題 私の前では泣くんです

### エピソード 2

朝方Aちゃんを叱ったその日、迎えには両親で来られた。母親が「あの後、どうでしたか？」と問いかけてきたので「Aちゃんはお母さんが帰った後、少ししたら泣き止んでこんなふうに遊んでいましたよ」と、私は様子を撮影したカメラで「これ、Aちゃんだと思うんですけど」と写真を見せた。母親は「そうですね。うちの子です」と言い、父親も一緒にカメラを覗き込んで頷いた。私は「Aちゃん、とても楽しそうに絵の具遊びをされていて、いい笑顔でしたよ」と伝えた。一緒にいたAちゃんが父親の手を引っ張ったので父親はその場を離れた。母親は「いつも私の前では泣くんです。習い事の時でも私が見えると泣くし」「お兄ちゃんも入園後1ヶ月以上泣いていたけど、Aちゃん、6月になった今頃から泣くって、どうなんですかねえ」と顔を曇らせた。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 「いつも私の前では泣くんです」と話をされた母親の思いはどんなものだったのでしょうか。

# 検討例

## 感じる心を持つ ミニエピソード 検討メモ

### 始める前に皆さんで確認しましょう！

- ・他者の意見を聞いて学びましょう。  
違いに気付くことや自分を振り返ることが、子育て支援や保育のヒントになります。
- ・お互いの意見を尊重しましょう。  
どの人の意見も公平に扱われ、保育の経験年数などでその重みは変わりません。
- ・この話し合いには正解はありません。  
「間違い」もありませんので、臆することなく、感じたことを出し合いましょう。
- ・参加者みんなで意見交換できるようにしましょう。  
全員が発言できるように意識し、一人の人が喋り過ぎないようにしましょう。

参加者名 (◎司会 □書記)

1	◎ 京都みらい
2	御池一郎
3	四条花子
4	□ 北大路二郎
5	
6	
7	
8	

実施日時

\*月 \*日 (\*)

エピソード名

私の前では泣くんです

# A

(検討会で出し合う意見・感想の例)

- このお母さんは、真面目な方で何事もそつなくできる人とあるから、きっちりとされていていろいろとできる人ではないかと思う。子どもにもしっかりするよう強く求める人なのかな？
- もしかしたらお母さんは、お父さんのサポートが得られず、一人で追い詰められていたのかもしれないよ (母親を取り巻く対人的状況への想像)。
- 一生懸命なお母さんの下で、Aちゃんも入園当初頑張っていたんじゃないかな。お母さんと似た性格で頑張っていたけれど、病気欠席が続いた後、なんだか心細い気持ちになって泣いて甘えたいとき「泣きやみなさい。頑張って園に行くんだよ」と言われて余計に悲しくなってしまったのかもしれない。
- 真面目できっちりされているということは、もしかすると、お母さんは子どもが生まれる前はフルタイムのキャリアウーマンで、仕事もしっかりこなしてきたかもしれない (母親の過去の人生への想像)。このような人は「良い母親」と「良い子ども」であらねばという強いイメージを持っていることがある。
- これまでのこのお母さんの生き方や生活スタイル、あるいは自分が望んでいるようなあり方のおりにならず、そこに困っているのではないか。そのことも影響してこのAちゃんが、登園時にぐずって母親と離れにくいのかも。
- お母さんにとって見られたくない場面だから、ここはひとまずそっとしておくのが良いかもね。

# B

(検討会で出し合う意見・感想の例)

- さっきは「お父さんのサポートがないのかも」と言ったけど、お迎えにお父さんと一緒に来られたということは、そうでもないのかもしれないね。お父さんはなぜ一緒に迎えに来たのだろう。お父さんはどんな人だろう。
- Aちゃんがお父さんの手を引っ張っていくくらいだから、子どももなついている感じがするね。
- やっぱり朝は時間に追われているから、お母さんも焦って叱ってしまったのかもしれない。そのことをずっと気にかけていて「あの後どうでしたか」と保育者に聞いているのだろう。もしかするとAちゃんが泣いて離れなくて、つい叱ってしまったということをお父さんに相談したのかもしれない。
- 「いつも私の前では泣くんです」とお母さんは悩んでいるけれど、Aちゃんはもっとお母さんに甘えたいからこそ、お母さんの前でぐずるのかもしれないね。
- 4月からのAちゃんの頑張りや、病気で少し心細くなっていること、お母さんを求めるAちゃんの気持ちを、お母さんに伝えてあげると良いのではないかな。
- 保育者が言葉で「楽しそうに遊んでいましたよ」と言うだけじゃなく、写真も見せてあげたことで、ご両親もホッとしたんじゃないかな。
- 子どもは子どもなりに相手を見て、自分の気持ちを様々な形で満たそうとしているんだね。保育をしても、自分の前でだけ負の姿を見せる子どもがいるけれど、そこに大切な意味があるのかも。

## 気付き

話し合ったことから気付いたことを出し合い、まとめとしてご記入ください。

実際にやってみると、この他にもいろいろな意見・感想が出くるともかもしれません。あるいはエピソードをきっかけにして、自園の子どもや保護者、保育のあり方に話が広がっていくかもしれません。どんなことであっても、保育について語り合うということは、とても有意義な時間になるはずですよ。

次のページから、今の例題と同様、話の題材となるミニエピソードを載せています。是非、いろいろな形でご活用ください。

# A

◆日常の保育で

## ① 排泄できましたんです！

### 背景 1

Bちゃん（3歳児）は、自分の興味のあるものに次々と寄って行く子ども。時折「お母さんがいい」と泣くこともあり、片付けや帰る用意をしようと誘うと「いやだ」と遊び続けた。母親は、入園前の説明会の折に、第2子の出産とBちゃんの入園時期が重なる不安と、おむつがとれていないこと、なかなか言うことを聞いてくれないことなど、悩みを話されていた。

### エピソード 1

入園当初、Bちゃんは、みんなでトイレに行く時間には「怖い」と泣いて行くのを嫌がった。また、おしっこが出た際に着替えを誘うこともとても嫌がった。私はこの時期は、楽しく安心して園で過ごして欲しいと思い、無理にトイレに行かせることはしなかった。

5月のクラスの懇談会では、生活習慣の自立に向け、6月中旬からプール遊びが始まることにあわせて園では着替えに時間をかけて取り組むこと、また、排泄の自立が心配な人はこれを機会に園と家庭と一緒に取り組んでいきたいことを話した。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 懇談会での母親の気持ちを出し合ってみましょう。
- 排泄の自立に対する親の不安な気持ちにどのような言葉をかけますか。

# B

◆日常の保育で

## ① 排泄できたんです！

### 背景 2

懇談会後も、Bちゃんは相変わらずトイレを嫌がっていたが、徐々に、保育者が抱っこして好きなマークが貼ってあるトイレの扉を見せると泣き止むようになり、自ら他の扉なども見て回るような姿が見られるようになった。

### エピソード 2

Bちゃんはトイレに行っても「怖い」と言わない日もあり、母親もその話を嬉しそうに聞いて「朝、必ずトイレに座るようにしています」と明るく話した。「お母さん、がんばっているね！」と取組を認め、Bちゃんのトイレへの不安感が変わってきていることを喜び合った。

1週間ほどたった日、Bちゃんは泣かずにトイレに行き、一人で座った。保育者も大いにその姿を認め、そのことを母親に伝えたところ「そうですか！すごいね！Bちゃん！先生、実は家でもトイレでおしっこできたんです！まだ2回目ですけど！」と報告された。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 子どもの身辺自立をすすめるとき、あなたは保護者とどんなことを大事にしたいですか。
- Bちゃんがトイレで排泄することに意欲を持ち始めた要因として、どんなことが考えられるでしょうか。



◆日常の保育で

## ② わざとじゃなくても

### うちの子が謝らなくてはダメなんですか？

#### 背景 1

Cちゃん（5歳児）は比較的裕福な家庭の一人っ子で、父方の祖父母と同居している。Cちゃんは、大きな持病があるが、普段は運動や生活に大きな制限はない。父母からも祖父母からも可愛がられ、大事に育てられてきた。自分の思いを止められたり我慢したりする経験がほとんどない様子で、3歳児で入園してきた。

#### エピソード 1

水道で手を洗っている友だちを、後ろに並んでいたCちゃんが押した。友だちは顔をぶつけ、顔に大きな怪我をした。Cちゃんは「僕悪くないし。そこに当たるのが悪い！」と見ようとしめない。「わざとじゃないし。並んでぶざけてたらぶつかっただけやし！」と言う。私は「わざとじゃなくても、ぶつかってこんなに痛い思いを友だちがしてしまったことには『ごめんね』やな」と伝え、Cちゃんはその友だちにふてくされたように謝った。その日は、怪我をした友だちもその保護者も嫌な気持ちが残ったまま帰宅された。

その後、迎えに来たCちゃんの母に今日の出来事を伝える。やはりCちゃんは『自分は悪くない、相手がそこにいるのが悪い』と言っている。すると母親が「わざとじゃなくてもうちの子が謝らなくてはダメなんですか？」と尋ねてこられた。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 母親はなぜこのように言ったのでしょうか。
- あなたなら、保護者にどう声をかけますか。

# B

◆日常の保育で

## ② わざとじゃなくても

### うちの子が謝らなくてはダメなんですか？

#### 背景 2

Cちゃんは近々持病の手術をする予定であった。母親から「病院で空きが出て、手術をしました。その後退院して戻って来ていますが、とりあえず2週間は園を休みます」との連絡が入った。私は、無事に手術が終わったことを母親と喜び合い、翌日家庭訪問をした。

#### エピソード 2

お家に何うと、いつもきれいにされている母親が、自分のことどころではないくらいにCちゃんのことを心配されていたのであろうことが見て伝わってきた。Cちゃんも外出を禁止されている中、恥ずかしそうに出てきてくれ、その姿を見て私も『手術頑張ったんだなあ、やりたいことも我慢して今も頑張っているんだなあ』という思いがこみ上げ涙が出た。母親もCちゃんも私の訪問を喜んでくれた。何度か家庭訪問をして、2週間後、Cちゃんが登園してきた。

傷がふさがるまでは、運動制限があり、Cちゃんは今まで楽しんできた遊びも我慢しなければならない。運動的な遊びが楽しくなっている時期であったので、自分が同じように参加できないことが嫌で悔しく、怒ってすねたり、八つ当たりをしたり（特に母親に）することもあった。そのため私とCちゃんですり合いの審判をするなど、Cちゃんができる役割を見つけながらみんなの中で活動し、周りの子どもたちにもCちゃんの葛藤や、Cちゃんがそれを乗り越えようとしていることを伝えて関わった。



あなたなら、どう寄り添いますか？


- 母親はCちゃんをどんな思いで育ててきたのでしょうか。
- あなたなら、この親子にどのような支援をしますか。



◆日常の保育で

③ もう、

どうしていいかわからないんです・・・

 背景 1

Dちゃん（5歳児）は、母の実家で、祖父母、父親、母親、弟（3歳）、妹（1歳）と暮らしている。家は祖父母が自営業を営んでおり、父親は会社勤め、母親は専業主婦をしている。

園として、これまで2年間の育ちから、Dちゃんの発達について配慮が必要だと考えていた。年度当初、母親は、Dちゃんが早生まれであることを理由とされていたが、私は担任として、Dちゃんの言語面において、同じ言葉を繰り返したり、問われたこととは的が外れた返事をする姿が見られ気になっていた。また、込み入った話になると「わからん」とはぐらかすこと、初めてのことはすぐに「できひん」と言って不安が大きいところなども気になっていた。

母親は、私の話もきちんと聞いてくださり、人当たりも悪くなく、柔らかくふわっとした雰囲気の方である。しかし、私がDちゃんの話をして、母親の子どもへの接し方は見えづらかった。Dちゃんは3歳児のときに入園し、丁度そのころ妹が生まれた。私は普段から、この親子が、互いにあたたかい気持ちを感じるような関わりがあまりないように感じていた。

 エピソード 1

普段、母親から私に何か話しかけてくることはなかったが、その日は珍しくお迎えのときに話しに来られた。先日の参観日に子どもたちに「しりとりのおうさま」の絵本を読んだ。それを見た母親が、家でも同じように絵本を読んでみたが、Dちゃんは『お母さんはそんなんでいい』と言ったとのことだった。私が「Dちゃん、しりとりはまだ興味がないのかなあ」と返すと、母親は堰を切ったように「いつもなんです。何か一緒にしようと思っても、全然のってこないし、どんなことがあったか聞いても知らん、わからん、終いには忘れたって言うんです」私が「そうやね。そんな風に言われたらお母さんも嫌やんな」と返すと、母親は「もうどうしていいかわからないんです・・・」とうつむいてつぶやくように言った。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 母親は子どもの育ちをどのように思っているでしょう。
- 「もう、どうしていいかわからないんです・・・」と言った母親のつぶやきに、あなたならどのような言葉をかけますか。




**B**


◆日常の保育で

③ もう、

どうしていいかわからないんです・・・

 背景 2

妹が入院し、母親が付き添うことになり、園への送迎は祖母がされることになった。祖母は見るからに厳しそうな感じの方で、私が話しかけると勢いよく喋られる方である。祖母が迎えにきたある日には、一人でさっさと歩く祖母の後ろから、一生懸命について歩くDちゃんと弟の2人の姿を見かけたことがある。

 エピソード 2

ある日、祖母から、Dちゃんがあまりにも自分に懐かず離れていくのはおかしいのではないかと尋ねられた。また、園で製作をしたときのことを祖母に話したときには「ありがとうございます。指導が大変だったでしょう」と話された。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 祖母はDちゃんの育ちや母親の育児をどのように思っているか考えてみましょう。
- 祖母と母親の関係について考えてみましょう。そして、母親の育児にどのように影響しているのか話し合ってみましょう。
- あなたなら、この親子にどのような支援をしますか。

A

◆子育て支援事業で

## ④ こんな感じなんです

### 背景 1

繊細なところのある母親と人見知りの強いEちゃん(1歳児)。今まで子育て支援の取組にもあまり参加したことがなかったが、子どもの為にこのままではよくないと思い頑張って子育て支援イベントに初めて参加したときのこと。その支援の場には学生ボランティアも参加していた。

### エピソード 1

初めて地域の子育て支援の取組に参加したEちゃん親子。そこに参加していた学生が笑いかけたところEちゃんは泣いてしまった。その後、学生が「私の子どもは泣かない明るい子になってほしい」と言っていたのを、偶然聞いた母親は深く傷つき、このような場に参加できなくなってしまった。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- あなたなら、母親にどのような言葉をかけますか。また、どのような支援をしますか。

# B

◆子育て支援事業で

## ④ こんな感じなんです

### 背景 2

そんな母親だが、私の園の園庭開放には来てくれた（支援の場で紹介されたい）。母はとても緊張して、少し暗い表情でうつむき加減に来ていたが、段々と来るたびに表情が少しずつ明るくなり、頻繁に来られるようになった。そして、初めて園庭開放に来た新しい親子に、部屋の使い方などを自然と伝える姿も出てきた。

### エピソード 2

私がEちゃんに絵本を読んであげると、ご機嫌に「ウゲッ」とゲップをするような声を出して笑った。私が「Eちゃんゲップしてるの？」と顔を見ると、また「ウゲッ」と声を出しては、ニタッと笑いながら私の顔を見ている。「ゲップが出るの？すみません」と謝る母親に対し、私が「いえ、違うみたいですよ。わざと出してるみたい。Eちゃんっておもしろいんやね」と言うと、Eちゃんはまた「ウゲッ」と声を出して、やんちゃそうに微笑んでいる。母親は「そうなんですよ、家ではにぎやかでこんな感じなんです」と笑った。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 母親はどのような気持ちで、園庭開放に来たのでしょうか。その気持ちはどう変わっていったのでしょうか。
- そのような変化はどういった要因によるのでしょうか。

※このミニエピソードは

①まであります。


感じる心を持つミニエピソード

**A**

◆子育て支援事業で

⑤ あ！それだ

そうだ・・・先生だから言うけど

 背景 1

2年前、Fちゃん（当時9か月）の生活リズムや関わり方、遊び方を教えて欲しいと地域子育て支援拠点事業担当者である私に依頼があり、家庭訪問したことから支援が始まった。その後は母親のその時々のお悩みや不安に児童館の子育て相談の場で応じてきた。しばらくして母が第2子を出産され、この日、2人の子どもへの関わり方が分からないということでやって来られた。

 エピソード 1

母親は「Fちゃんが幼稚園に行ってから、ご飯を一人で食べず『食べさせて』ってすごく甘えたになっちゃって。トイレにも行けるようになっていたのに、家ではパンツをはきたくないって、この前なんかは床でしちゃったんですよ。もう、大きい体なのに『抱っこして』ばかりで、この子、おかしくなっちゃったんですかね。ちゃんとさせた方がいいですよ。幼稚園では先生のお手伝いを積極的にしているみたい。お友だちともすごく楽しんでいるようで、家でも『幼稚園は楽しい』とは言っていて、外面はいいんだよね。もう、腹が立つ。お父さんにもすごくいい子でほんとと頭にきちゃう」と一気に話された。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- Fちゃんはどうしてこのような姿を見せるようになったのでしょうか。
- 2人の子育ての中、子どもが、自分だけに“甘えた（甘えん坊）”になることに疲れている母親に対してあなたならどう対応しますか。

# B

◆子育て支援事業で

## ⑤ あ！それだ

### そうだ・・・先生だから言うけど

#### 背景 2

私は、この母親をととてもできる人、自分がちゃんとできているか確認したい人ではないかと捉えていたので、今までの相談には専門性を生かして丁寧に対応してきた。寝返りや昼寝ができるようになったことなど「よかったね」と一つ一つ確認し合い、共に喜び合ってきた。

#### エピソード 2

母親は、赤ちゃん返りが見られるFちゃんに対して「先生いつまで甘えが続くの？重たいFちゃん、抱っこできるかな・・・」と不安がった。

私は、研修で聞いた気持ちの持ちようを例える“コップに水を注ぐ話”をしてみた。「お母さんあのね、Fちゃんの心の中に空のコップがあってね、お母さんにいっぱい甘えるとお水が注がれるんだって。コップがいっぱいになるまでどれくらいかかるかわからないけれど溢れてきたら、お母さんのお水はもういいわって離れていくんだって。そうなったら抱っこしたいと思っても抱っこできなくなるから」と話した。その途端、母親は「あ！それだ。そうだ・・・」と言った。「先生だから言うけど、引きこもりだった頃、母親が来て『しんどかったね』って言って私を抱きしめて背中をさすってくれたとき、私はこれをしてもらいたかったんだと気付いたの。そう思ったら気持ちが楽になって。きっと、お母さんにコップの水をいっぱいにしてもらえたんだわ」と涙を流しながら話された。私は、母親に何か言葉をかけたいと思ったが、胸がいっぱいで何も言えなかった。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 母親はどんな経験をしてきた人なのでしょう。支援者の話を聞いて、どんな思いが動いたのでしょうか。
- 支援者と母親との間でどんな気持ちの交流が生じたのでしょうか。



◆子育て支援事業で

## ⑤ あ！それだ

### そっだ・・・先生だから言うけど



#### エピソード 3

母親は涙をぬぐうと笑顔になり「先生に初めて家に来てもらったときに『生活リズムはどうしたらいいの？どう遊ぶの？』とかそんなこと言ってたよね。笑っちゃうね。そんなことを真剣に悩んでたよね。そんなことよりこれだよ」と、入室してきたときの表情とは一変していた。

私は母親の笑顔を見て、少し気持ちが整い「お母さん、そっだったんだ。そんなことがあったんだね。話してくれてありがとう。私もお母さんの話を聞かせてもらってとても大事なことに気付かせてもらったよ」と言いながら、何故か母親の背中をさすっていた。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 「そんなことよりこれだよ」とはどういうことだと思いますか。
- 支援者が母親の背中をさすっていたのはなぜでしょうか。





◆母親の立場で

## ⑥ 嫌いになりそうや

### 背景 1

私の職業は保育士である。私自身、第2子の長女を出産し、長男（5歳児）と2人の子育てが始まった。どうしても長女を優先することが多くなり、まず長女を何とかしたら長男との時間が持てるとの思いがあったが、なかなか思うようにはいかず、私は長男の対応に困っていた。

### エピソード 1

長男は、今までは独占できた両親を譲らねばならない現実に納得できていない様子だった。その中で私のイライラも募り、思ってもいなかった感情が心の中に起こった。長男への「嫌い」という感情である。口にすることも怖かった私の中にある気持ちだった。

ある日、ぽつりとそれを口にしました。「（毎日あまりに大変で長男を）嫌いになりそうや」と。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- あなた自身が子どもに対してこのような気持ちになったらどうしますか。
- あなたが保育者としてこのような母親の言葉を聞いたとしたら、この母親に対してどんな言葉をかけますか。また、どんな対応をしますか。



# B

◆母親の立場で

## ⑥ 嫌いになりそうや

### 背景 2

私がこの言葉をこぼした相手は、園の先生（保育者）ではなく、同じクラス  
の保護者であった。

### エピソード 2

同じ2人の男の子を持つ母親に、何気なく「嫌いになりそうや」とこぼした。すると、相手の母親はこともなげに「あった、あった、あたしにもあったよ」と言った。私はものすごく救われた気持ちになった。私だけじゃない、思ってもいいのだ、と。保育者からどんなアドバイスをもらうよりも心に残った。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 「私」はなぜ保育者ではなく、同じ立場の保護者に本音をこぼしたのでしょうか。
- 相手の母親の「こともなげ」なひと言に、救われたのはなぜでしょうか。



◆虐待

## ⑦ もういややねん！

### 背景 1

母親は、男の子の双子を帝王切開で出産し、お腹に「傷がついた」ことで、この双子が「憎い」と言い続けていた。父親は、自身が厳しく躰けられたと話され、躰という名の下に身体的虐待が常態化していた。やがて、妹が生まれ、その子は両親の癒しの対象となり、徐々に双子の兄と妹の扱いが大きく分かれ始めた。そして、両親の双子への威圧的な言葉かけなど、心理的虐待も助長され、この子たちにとって益々過酷な環境となった。園や行政機関の見守り応援の中、両親に様々な対応をしたが、子どもたちの成長と共に虐待はエスカレートしていった。副園長の立場であった私は、双子が給食の時間が近づいても登園していない日は迎えに行き、ひとしきり両親と話をし納得してもらった上で、園に連れてきていた。

### エピソード 1

私は、母親に「先生が来ると思ってあいつらなんもしよらへん！先生が来たら助けてもらえると思ってんねん！」「そやし、もう迎えにこんといて」と言われた。それもそうだと思う。しかし双子には園に来て欲しい。そこで、母親に繰り返し園に来ることの意義などを伝えると「ちゃんと連れて行くし大丈夫」と約束してくれた。「じゃあ、お母さん任せるね」と信じていることを伝えた。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- 母親は何に困っているのでしょうか。双子の兄たちへの苛立ちはどこから出てくるのでしょうか。
- この夫婦の関係、および自身が厳しく躰けられたという父親と両親の関係はどのようなものだったと思いますか。
- あなたなら「もう迎えにこんといて」と言われたらどうしますか。

# B

◆虐待

## ⑦ もういややねん！

### 背景 2

妹は毎日必ず登園してきていた。私は、その際に双子の様子を聞くチャンスがあるので、母親と双子を見守っていくことにした。母親は、私と約束したこともあり、時間がかかっても頑張っけて双子を連れてこようとしていた。しかし、簡単に双子の心を動かすことは出来ず、だんだんとイライラして疲れた表情が見られるようになってきた。

### エピソード 2

ある朝、母親は、怖い顔で妹だけを連れて登園してきた。私は双子の様子を聞いてみた。すると母親は「もういややねん！」とやり場のない怒りをぶつけてきた。「毎日毎日一生懸命に伝えているのに！教えてるのに！どうしてわからないの？私は頑張っているのに。子どもたちはどうしてできないの？」と訴えている母の心の叫びが聞こえてくるようだった。私は「お母さん、たいへんやなあ…もうしんどいやろ？一人でそんなに頑張らなくてもいいやん。私が代わりに子どもたちに叱ってあげるわ」「家に帰ってそのまま2人連れておいで」と声をかけた。母は「えっ？」という顔をしながらも「じゃあそうするわ」と素直に2人を連れてきた。その表情は先ほどより明るく、仲間を得たという元気な顔になっていた。



あなたなら、どう寄り添いますか？

- あなたなら、母親に対してどのような言葉をかけますか。
- 母親の気持ちが軽くなったのはなぜでしょうか。このような親子・家族へ私たちができることはどんなことでしょうか。

感じる心を持つ  
ミニエピソード  
検討メモ

始める前に皆さんで確認しましょう！

- ・他者の意見を聞いて学びましょう。  
違いに気付くことや自分を振り返ることが、子育て支援や保育のヒントになります。
- ・お互いの意見を尊重しましょう。  
どの人の意見も公平に扱われ、保育の経験年数などでその重みは変わりません。
- ・この話し合いには正解はありません。  
「間違い」もありませんので、臆することなく、感じたことを出し合しましょう。
- ・参加者みんなで意見交換できるようにしましょう。  
全員が発言できるように意識し、一人の人が喋り過ぎないようにしましょう。

参加者名 (◎司会 □書記)

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

実施日時

月 日 ( )

エピソード名

A

**B**

気づき

話し合ったことから気付いたことを出し合い、まとめとしてご記入ください。





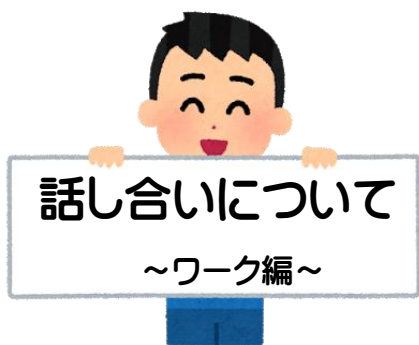
## 親の気持ちを考えるためのワーク集

### ねらい

私たちは、まず初めに保護者を見て「この人はこんな人だな」といった第一印象を持ちますが、そこから一歩踏み込んで「本当はどんな人なのだろう?」「どんな人生経験をしてきて、どんなものの見方・感じ方をする人なのだろう?」と考えることが大事です。他者からはなかなか見えない心の奥底に、複雑な思いを持っている保護者は少なくありません。また、同じ保護者でも、その人に対する自分のイメージと、他の保育者が持つイメージが違うこともしばしばあります。「あのお母さん、あんなふうに見えるけど、このあいだ子どもに〇〇とってたよ」などの情報を共有することから、自分の思っている保護者が、違う一面を持っていることや、なかなか言い出せない思いを心に持っていることに気付くことがあります。

是非、その時には、**保護者が現在置かれている状況とその保護者が育ってきた背景や生活歴などの過去の経験**に着目してください。そうすることで、保育者に保護者の心のありようが見えてきて「そうだよね」「大変だったね」と、心から保護者の思いに共感できることも増えてくると思います。

また、そのように共感した後、**どんな言葉を返していくか**ということも重要なポイントです。様々な保護者にいったいどんな言葉をかけたらいいのか、実際の保護者への関わりを皆さんで出し合い、このワークを通して保護者の気持ちに寄り添う関わり（支援）を仲間と振り返り、見直す機会にしていただけたらと思います。



## ➤ 方法

- 所要時間 30分～45分程度  
(人数に合わせて話し合い時間を調整)
- 形式 グループ討議
- 形態 3人から5人程度のグループ

## ➤ 実施時の約束

- ・他者の意見を聞いて学びましょう。  
違いに気付くことや自分を振り返ることが、子育て支援や保育のヒントになります。
- ・お互いの意見を尊重しましょう。  
どの人の意見も公平に扱われ、保育の経験年数などでその重みは変わりません。
- ・この話し合いには正解はありません。  
「間違い」もありませんので、臆することなく、感じたことを出し合しましょう。
- ・参加者みんなで意見交換できるようにしましょう。  
全員が発言できるように意識し、一人の人が喋り過ぎないようにしましょう。

## ➤ 流れ

時間	手順
始める前に	ワークを選ぶ グループに分かれる 司会と書記を決める
15分～20分 (グループ人数によって時間調整)	ワーク1について <ul style="list-style-type: none"><li>■ 「こんなふうに見える」を出し合う</li><li>■ 「こんなふうにも見える」を出し合う</li></ul>
15分～20分 (グループ人数によって時間調整)	ワーク2について <ul style="list-style-type: none"><li>■ 関わりを深めるための言葉を出し合う</li></ul>
5分	気付きの報告をする <ul style="list-style-type: none"><li>■ グループ発表</li></ul>



## ワークの使い方

ワーク 例題 こんな保護者に出会ったことはありませんか

**見た感じや印象**  
 子どものすることに確かに口を出し、厳しく叱責することが多い。

**よく言う言葉**  
 「ダメ!」ちゃんとしなさい」「はずかしいでしょ」「やめなさい」など否定的な言葉かけが多い。

<ワーク1>  
 この保護者って  
 どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど

でも、本当はどうだろう・・・  
 気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか?

②こんなふうにも見えるよね

### ① ワーク1

保護者の見た感じ、印象、よく言う言葉などから、第一印象「こんなふうに見える」を出し合ひましょう。

② 保護者の心の有り様に注目し「こんなふうにも見える」を出し合ひましょう。

### ポイント

保護者の現在置かれている状況と過去の育ってきた背景や生活歴などの過去の経験に着目して、保護者の気持ちを様々に想像してみましょう。

<ワーク2>  
 あなたなら、  
 どんな言葉をかけますか

? ワーク1をもとに、目的の保護者どう変わるか・・・  
 こんな視点で考えてみてください

- 保護者の思いをよく聞こう。
- 保護者の個性、担任との信頼関係との度合いによってかける言葉は違ってきそう。
- 子どもの行動の意味を伝えよう。
- 保護者の見方とは違った視点で子どもの良いところを伝えよう。
- これから先の育ちについても伝えよう。

あなたなら、どう寄り添いますか?

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

### ③ ワーク2

関わりの視点はいろいろあると思います。「ああかな」「こうかな」と親の気持ちに寄り添うための視点を出し合いながら、関わりを深めるための言葉を考えましょう。



次のページに例題を示します。  
 まずはこの例題を題材として、試しに上の①～③の手順をやってみてください。

ワーク 例題 こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

子どものすることに細かに口を出し、厳しく叱責することが多い。

よく言う言葉

「ダメ」「ちゃんとしなさい」「はずかしいでしょ」「やめなさい」など否定的な言葉かけが多い。

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



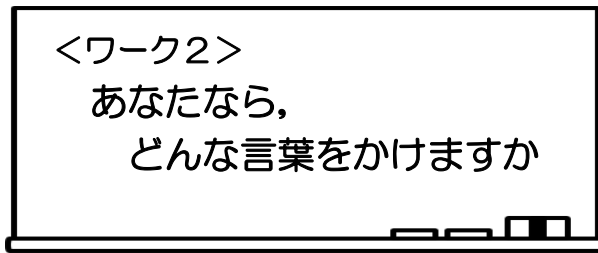
けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね





ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 保護者の思いをよく聞こう。
- 保護者の個性、担任との信頼関係との度合いによってかける言葉は違って来るだろう。
- 子どもの行動の意味を伝えよう。
- 保護者の見方とは違った視点で子どもの良いところを伝えよう。
- これから先の育ちについても伝えよう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

# 検討例

ワーク 例題 こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

子どものすることに細かに口を出し、厳しく叱責することが多い。

よく言う言葉

「ダメ」「ちゃんとしなさい」「はずかしいでしょ」「やめなさい」など否定的な言葉かけが多い。

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



(検討会で出し合う意見の例)

- ・自信がない。
- ・叱ることでいい子になると思っているのかな。
- ・型に捉われている。
- ・人からどう見られているか心配なのかな。
- ・祖父母にいろいろ言われているのかもしれない。

けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね



(検討会で出し合う意見の例)

- ・子どものことをよく考えている。
- ・子どもがいい子になって欲しいと願っている。
- ・親としてのしっかりした理想像がある。
- ・いろいろなことに気付いているのかな。
- ・周りに気を使い過ぎてしんどいだろうね。

<ワーク2>

あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 保護者の思いをよく聞こう。
- 保護者の個性, 担任との信頼関係との度合いによってかける言葉は違ってくるだろう。
- 子どもの行動の意味を伝えよう。
- 保護者の見方とは違った視点で子どもの良いところを伝えよう。
- これから先の育ちについても伝えよう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

・実際に保護者が困っているという気持ちを受け止めるような言葉  
(検討会で出し合う意見の例)

「ちゃんとしてくれなくて困ったね」「どういうことで困っていますか」

・お母さんの困りを引き出すような言葉  
(検討会で出し合う意見の例)

「上手くいかないときはどんなときですか」「上手くいったときはどんなときですか」

「〇〇してたときは、□□ちゃんはどんな気持ちだったのかなあ？」

→悩みを共有したり, 保護者を認めたり, 子どもの気持ちに気付けるように誘う。

ワーク  こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

迎えに来たが、子どもは園庭で遊んで1時間程は帰らないので、保護者もスマートフォンを見て過ごしている。子どもは帰ろうとすると家に帰りたくないという。保護者は笑顔だが、あまりしゃべらない。

よく言う言葉

笑顔でおられるが、話されない。

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



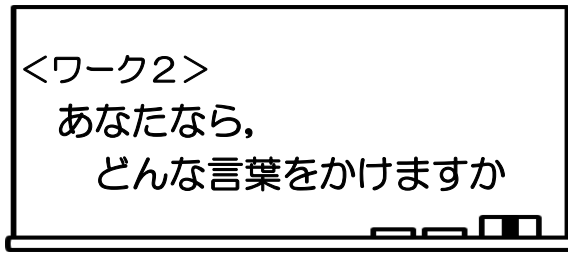
けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね





ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 子どもを肯定的に受け止めよう。
- 子どもの素敵な姿から保護者を認めよう。
- 保護者の関わりを肯定的に受け止めて言葉にして伝えよう。
- このような関わりが、保護者が安心して保育者に心を開くことに繋がるだろう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

ワーク ① こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

保護者は綺麗な身なり(子どもはそうでもない)をしているが、表情はしんどそう。

子どものお弁当なども手抜きが目立ち、持ち物なども不衛生である。

よく言う言葉

親の代わりに小学校3年生の兄が園の迎えをしていたので、声をかけると「何ですか」と言われる。

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね





<ワーク2>

あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 生活や仕事において、何かあったのかもしれない。まずはしんどい気持ちを受け止めよう。
- 保護者を否定的に捉えず、非難するような関わりはやめよう。
- 保護者のマイナス面が気になるが、保護者の子どもへの関わりを肯定的に受け止めて言葉にして伝えよう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

Large empty rounded rectangular box for writing responses.

ワーク



こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

年長児である我が子を赤ちゃんのように抱っこする。

よく言う言葉

入学試験に落ちたらどうしよう。

<ワーク1>

この保護者って

どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



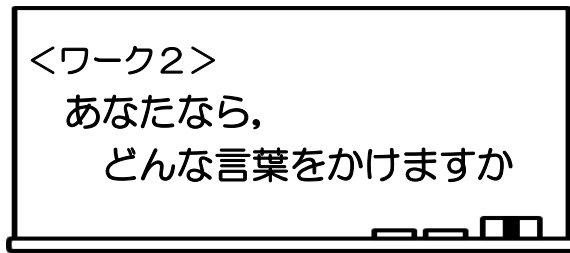
けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね





ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 保護者の思いを十分に聞いて共感しよう。
- 子育てに自信が持てるように、保護者の関わりをまずは認めよう。
- 普段の子どもの素敵なところを丁寧に伝えよう。
- 子どもの頑張りやその経過を伝えよう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

ワーク



こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

子どものお迎えが閉園ぎりぎりになることが多く、遅れることもある。  
保護者の様子は、職場からというよりは一旦家に帰って家事を済ませてから  
迎えに来ている様子(手ぶら)が伺える。

よく言う言葉

「はあ…」とため息が多い。

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね



<ワーク2>

あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- お迎えが遅くなる理由はともかく、子どもの前では保護者を受け止め、まずは気持ち良く迎えよう。
- 保護者の今の気持ちにしっかりと寄り添うことが大事。それなしには保護者の行動は変えられない。
- 保護者が育児に向き合えないときには、保育を充実させることから親子を支えよう。
- 長い目でみることも考えよう(進級先や就学先へ繋ぐ)。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

Large empty space for writing answers, enclosed in a large bracket shape.

ワーク



こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

子どもが、園であった友だちとのトラブルを話すと保護者自身が自分のことのように受け止め、ショックを受けてしまう。

よく言う言葉

「何でそんなことになるの」「ちゃんと言いなさい」

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね



<ワーク2>  
あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 保護者の不安な気持ちを聞こう。
- 保護者には、トラブルがあったときの子どもの思いを中心に伝えよう。
- 当分は、子どものことについては、なるべく園の方で解決しよう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

Large empty rounded rectangular box for writing responses.

ワーク **カ** こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

保護者の中では地味でおとなしく見える。

何かあると担任ではなく園長に話に行く。

よく言う言葉

「子どもの服が無くなりました」などの細かなことを担任ではなく園長に言いに行く。

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね





<ワーク2>

あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 子どもの取る行動や言葉の良いところをみつけて保護者に伝えよう。
- 保護者の子どもに対する言葉や行動の良いところをみつけて伝えよう。
- これらのことから、子どもとの信頼関係、保護者との信頼関係を作っていこう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

Large empty space for writing answers, framed by a large bracket shape.

ワーク ㊦ こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

大型遊具で遊んでいる我が子がしていることにハラハラし、危ないと感じて  
制止してしまう。

よく言う言葉

「もう！」「あぶない！！」

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね



<ワーク2>  
あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 保護者の不安に寄り添って思いに共感しよう。
- 子どもの思いを代弁して伝えよう。
- 他の保護者からこれまでの経験を話してもらい、様々な子育ての考えを知ることができるような機会を作ろう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

Large empty space for writing responses, framed by a large bracket shape.

ワーク ㊦ こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

子どもに対する悩みや困りを、友だちや先生など他人のせいにする。

よく言う言葉

「〇〇ちゃんのせいで言葉使いが悪くなった」

「先生が伝えてくれなかったからできなかった」

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



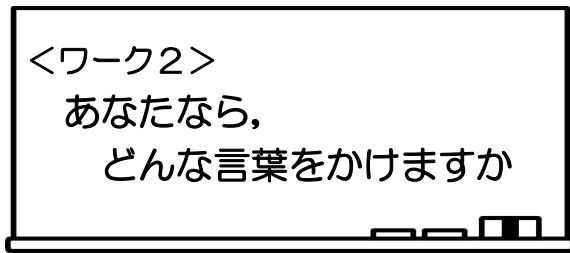
けれども

でも、本当はどうだろう・・・

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね





ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- まずは、保護者の思いをゆっくり聞こう。
- 少しずつ子どもの取る行動の意味や成長の過程を伝えていこう。
- 園での取組の意図を分かりやすく丁寧に伝える工夫をしよう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

ワーク ㊦ こんな保護者に出会ったことはありませんか

見た感じや印象

子どもが可愛いとは思っているが、だからと言って自分でずっと関わるのは嫌だと思っている。

よく言う言葉

「もう……」「めんどくさい……」

<ワーク1>

この保護者って  
どんな人なのかなあ

①こんなふうに見えるけど



けれども

でも、本当はどうだろう……

気持ちに寄り添ってみると違って見えてきませんか？

②こんなふうにも見えるよね



<ワーク2>  
あなたなら、  
どんな言葉をかけますか



ワーク1をもとに、目の前の保護者にどう関わろうか・・・

**こんな視点で考えてみたらどうだろう？**

- 保護者自身のがんばりを認めよう。
- 子どものかわいい姿や保護者との微笑ましい関わりを伝えよう。
- 保護者との会話を大切にし、話しやすい雰囲気を作ろう。



あなたなら、どう寄り添いますか？

～関わりを深めるための言葉を考えましょう～

Large empty rounded rectangular box for writing answers.

第4期こどもみらい館研究プロジェクト  
子育て支援研究プロジェクトメンバー

(第4期研究プロジェクト時の園(所))

メンバー

石田 快子	(京都市子ども若者はぐくみ局 幼保総合支援室)
植田 真千子	(佛教大学附属幼稚園)
佐々木 典子	(今宮幼稚園)
杉田 のり子	(メグミ幼児園)
瀬戸口 直美	(京都市壬生保育所)
高田 仁美	(京都市立翔鸞幼稚園)
奈良 美保子	(京都市立みつば幼稚園)
山野 暁子	(京都市養正保育所)
渡邊 眞里子	(京都市楽只保育所)

アドバイザー

スーパーバイザー	鯨 岡 峻	(京都大学名誉教授)
研究アドバイザー	大倉 得史	(京都大学大学院人間・環境学研究科准教授)

事務局

こどもみらい館	長坂 由美	柳生 和代	奥 景子
---------	-------	-------	------

表紙絵

永田 萌	(こどもみらい館館長)
------	-------------



平成28・29年度  
京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
第4期研究プロジェクト  
「子育て支援研究プロジェクト」

**こんなとき あなたなら どう寄り添いますか**  
～気持ちに寄り添う子育て支援～  
感じる心を持つミニエピソード集  
親の気持ちを考えるためのワーク集

発行 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館  
〒604-0883 京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町 601 番地の1  
電話 (075)254-5001  
FAX (075)212-9909  
URL <http://www.kodomomirai.or.jp/>

平成31年3月 発行

